

データサイエンス学際カリキュラム（応用基礎レベル） 概要

データサイエンスの基礎となる数学・アルゴリズム・データ表現等の諸理論や機械学習の諸手法を修得し、R言語・Python言語を用いた実習課題を体験することで、AI・データサイエンスの実践的能力を修得することを目指す。

AI・データサイエンスの
修業のための選択科目

文理融合データサイエンス , , 情報倫理, 情報と職業

AI・データサイエンスの
実践を通じた学修

数値計算, 言語理論とオートマトン, 計算基礎論（計算量理論）
マルチメディア, 自然言語論, 形式言語論, コンピュータビジョン, データマイニング
コンピュータグラフィックス, 環境情報論, バイオインフォマティクス

AI・データサイエンスの
基礎と展望

データサイエンス(基礎)[選択必修], (中級), (上級)
文理融合データサイエンス [選択必修], , 人工知能論, 機械学習
データベース設計論[必修], データベース工学

数学・アルゴリズム・
データ表現の基礎

データ構造とアルゴリズム[必修], 数理基礎論, 確率序論
データ解析序論, 線形代数学1, 微分積分学1, 統計学

修了要件

データ構造とアルゴリズム、「確率序論、データ解析序論、線形代数学1、微分積分学1、統計学」から1科目、「文理融合データサイエンス、データサイエンス(基礎)」から1科目、「文理融合データサイエンス、データサイエンス(上級)、人工知能論」から1科目の5科目10単位を必修とし、その上で上記全ての授業科目群から合計6単位12単位を修得すること。

実施体制

文理融合AI・データサイエンスセンター

文理融合データサイエンスプログラム評価委員会

理学部
情報科学科

共創工学部
人間環境工学科 文化情報工学科

